

ヨーロッパの博物館

1. イギリス

糸魚川 淳二*

Museums in Europe 1. United Kingdom

Junji ITOIGAWA*

(Abstract)

54 museums in United Kingdom which were visited by the writer in 1974 are synthesized and listed in Table 1 with Fig. 1. The Museums are classified as follows;

1. National museum with speciality as British Museum (NH) and Geological Museum
2. National general museum as National Museum of Wales
3. City general museum in big city as City Museum and Art Gallery of Birmingham and Bristol City Museum
4. Local general museum as Castle Museum (Norwich) and Royal Institution of South Wales Museum (Swansea)
5. Local museum with speciality as Margam Stones Museum (Port Talbot) and Strangers' Hall Museum in Norwich
6. University Museum as Sedgwick Museum of Cambridge University
7. Other type museum as Doll Museum and Smuggling Museum in Isle of Wight

Characteristics in each type museum are discussed and museum activity as collection, exhibition, education and research is summarized.

1. ま え が き

博物館の原点はヨーロッパにあるといわれる。日本へは、直接あるいはアメリカをへて明治以後移入されたものである。筆者は1974年3月から1年間、イギリス・フランスを中心に、ヨーロッパに滞在する機会をえた。たまたま、その前の数年間、瑞浪市化石博物館創設の仕事に関与し、博物館がどんなものか、どのようにしてつくられ、現在はどうな活動をしているか、大きな興味をもつに至った。ヨーロッパ滞在の機会に、本来の研究の仕事の間を縫って、日曜日を中心に、多くの博物館を見学することに努力した。そして、約130の各国の博物館を訪れ、日本のそれと比較し、博物館の原型をさぐることができた。

日本における博物館を考え、どのように運営すべきかの問題の資料とするべく、ここにそのまとめを、2回にわけて行うことにした。本稿ではイギリスの博物館を主題にした。限られた時間での見学であるので、詳細については不明なものも多い。また、筆者の専門からして、自

* 名古屋大学理学部地球科学教室・瑞浪市化石博物館嘱託 Department of Earth Sciences,
Nagoya University, Nagoya

1976年10月10日 受理

然史関係の館が多い。見学したものを中心にしたが、一部 Museums and how to see them (1974), 各館の資料を参照した。イギリスで見学した54の博物館は第1表にそのあらましをまとめ、地図(第1図)に位置を示した。

本稿を草するにあたり、海外滞在の機会を与えられた文部省、名古屋大学、多くの便宜をはかれた名古屋大学理学部および地球科学教室の各位に厚くお礼申し上げる。またイギリス滞在中、多くの方々にお世話になった。記して感謝の意を表する。

Prof. D. V. Ager (University College of Swansea), Dr. M. Bassett (National Museum of Wales), Mr. P. Cambridge (University of East Anglia), Dr. M. L. K. Curtis (Bristol City Museum), Mr. F. W. Dunning (Geological Museum), Dr. R. P. S. Jefferies (British Museum (Natural History)), Mr. B. Markham (Ipswich Museum), Dr. C. P. Nuttall (BMNH)

2. イギリスの博物館のタイプとその例

イギリスの博物館はいくつかのタイプに分類することができる。例をあげて説明する。

a. 国立専門博物館

ここで扱うのは主にロンドンに所在する大博物館の例である。British Museum (大英博物館), Science Museum (科学博物館), Victoria and Albert Museum などがあるが、British Museum (Natural History) (大英自然史博物館)と Geological Museum (地質博物館)を例としてあげよう。

British Museum (Natural History) (以下 BMNH と略記)は1881年に公開されたが、その起源はさらに古く、1753年のBMの設立までさかのぼる。世界的な自然史博物館である。動物・植物・化石・岩石・鉱物の大コレクションを持っている。別に、Zoological Museum (動物博物館)があり、主に鳥のコレクションが保存されている。

展示はクラシックであるが、標本の質と量が物を言っている。普及・教育は教育サービスの他、講演会、館内旅行、映画会など、月に20日以上行事がある。出版物・資料・パンフレットなどの販売も活発である。館内にレストラン、buffetがある。

研究部門も充実していて、古生物学、動物学、昆虫学、植物学、鉱物学の5部門にわかれる。古生物学の部門では、20人以上のスタッフを持ち、各分類単位の専門家がいて、資料の保管・整理・研究にあたっている。専門わけはこまかく、軟体動物では頭足類、上部中生界～新生界、古生界～下部古生界とわかれている。内外の研究者との交流も盛んで、滞在して研究する学者も多い。

コレクションは膨大なもので、よく整理されている。ただ、専門家の欠ける分野のものについては学名などの訂正はなく、十分とはいえない面もある。出版は各部門ごとと歴史について研究報告があり、モノグラフの出版もある。図書館の中央図書館と5つの部門図書館にわかれている。あらゆる面において博物館の機能を十分に果している大博物館である。

地質博物館は地質調査所付属の博物館で、教育・普及、収集、資料の販売が主たる目的のようである。毎週の火・水・木・土に講演会、映画会などの催しがあり、展示では、イギリス各地の地質、「地球の物語」(The Story of the Earth)、宝石の展示、地質に関する各種展示などがある。「地球の物語」は新しい形式の展示の試みで、ナレーション・アニメーションを十分に使った光と動きのあるものである。設計・デザインのコンペションが行われて、プランが決定したとのことで、イギリスでは少ない、新形式の展示である。コレクションではイギリス



第1図 博物館位置図 Fig. 1. Location of Museums

第1表 イギリスの博物館

凡例 国：国立 National, 市：City, 地：地域 Regional, 専：専門 Special, 綜：総合 history, 園：植物園 Botanical Garden, 科：科学 Science, 史：歴史 History

名 前	Name	所 在 地	Location
ロンドン London			
1. British Museum		Great Russel St., WC 1	地下鉄 Holborn, Russel Sq. など
2. British Museum (Natural History)		Cromwell Rd., SW 7	地下鉄 South Kensington
3. Geological Museum		Exhibition Rd., SW 7	地下鉄 South Kensington
4. Royal Botanic Gardens Kew		Kew Rd.	地下鉄 Kew Gardens
5. Science Museum		Exhibition Rd., SW 7	地下鉄 South Kensington
6. Tower of London		Tower Hill, EC 3	地下鉄 Tower Hill
7. Victoria and Albert Museum		Cromwell Rd., SW 7	地下鉄 South Kensington
8. Wellington Museum		Apsley House, Hyde Park Corner W1V	地下鉄 Hyde Park Corner
イングランド England			
9. Museum of Costume		Bath	
10. Holburne of Menstrie Museum of Art		Bath, Great Pulteney St.	
11. No. 1 Royal Crescent		Bath,	
12. City Museum and Art Gallery of Birmingham		Birmingham, Congreve St.	
13. Museum of Science and Industry		Birmingham, Newhall St.	
14. Bristol City Museum		Bristol, Queen's Rd.	
15. Fitzwilliam Museum		Cambridge, Trumping St.	
16. Folk Museum		Cambridge, Castle St.	
17. Museum of Archaeology and Ethnology		Cambridge, Downing St.	
18. Sedgwick Museum of Geology		Cambridge, Downing St.	
19. Dorset County Museum		Dorchester, High West St.	
20. Herne Bay Museum		Herne Bay, High St.	
21. Liliput Museum of Antique and Period Dolls		Isle of Wight, Brading	
22. Albany Steam and Industry Museum		Isle of Wight, Newport	
23. Godsill Natural History Collection		Isle of Wight, Godsill	
24. Smuggling Museum		Isle of Wight, Ventnor	
25. Ipswich Museum		Ipswich, High St.	
26. Bridewell Museum		Norwich, Bridewell Alley	
27. Castle Museum		Norwich, Castle	
28. St. Peter Hungate Church Museum		Norwich, Princes St.	
29. Strangers' Hall Museum		Norwich, Charing Cross	

Table 1. Museums in United Kingdom

General, 大:大学 University, 私:私立 Private, 美:美術 Art, 自:自然史 Natural and Pre-history, 民:民俗 Folk, 族:民族 Ethnology, 産:産業 Industry

特 徴	分 類	備 考 (W:週日, S:日曜)
美術・工芸・考古の世界的コレクション	国・専・美	10-5(W), 2.30-6(S); 無料
自然史分野の世界的コレクション	国・専・自	10-6(W), 2.30-6(S); 無料
地質関係の展示・資料	国・専・自	10-6(W), 2.30-6(S); 無料 地質調査所付属
植物園; 3つの博物館がある; 植物25000種	国・園・自	10-4(冬), 10-8(夏); クリスマス休み; 1p
科学・技術の博物館, 子供用に特別な配慮がある	国・専・科	10-6(W), 2.30-6(S); 復活祭, クリスマス, 新年など休み 無料
甲冑, 刀, 銃砲などの武器および軍隊の衣裳など; 宝石	史・美	有名な観光地; 平日9.30-5, 冬は短くなる; 40p
美術・工芸の大コレクション, とくに陶器・手芸品	国・専・美	10-6(W), 2.30-6(S); 無料
Wellington 家のコレクション, 美術工芸品	国・専・美	10-6(W), 2.30-6(S); 無料 V. & A. Museum 付属
17世紀から現在までの衣裳; ファッションについてのコレクション	専・民	9.30-6(W), 10-6(S); 25p
工芸品, 絵画	専・美	11-1, 2-5(W), 2.30-6(S); 15p
1767年の建物の公開, 家具・工芸品	専・民	11-5(火-土), 2-5(S); 30p
美術・考古・民俗・自然史	市・綜	無料
科学・技術	市・専	無料
美術工芸・自然史・考古・産業など	市・綜	無料
美術・工芸品のよいコレクション, とくに陶器	美・史	10-5(W), 2-5(S); 無料
民俗品; ケンブリッジ周辺のもの	民・史	10.30-1, 2-5(火-土), 2.30-4.30(S); 5p
考古・民族; 大学のコレクションの公開	大・史・族	2-4(W); 大学の休暇のときは休み
地質・化石; 大学のコレクションの公開	大・自	2-4(W); 大学の休暇のときは休み
ドーセット地方の考古・歴史・地質・自然史; トーマス・ハーディの資料	地・綜	10-5(W); 10p
考古・歴史(地方)	地・史	図書館と同居; 無料
各種の人形	私・専・民	個人コレクションの公開; 人形の販売; 10p
機械・技術(自動車・エンジンなど)	私・専・産	個人コレクションの公開; 鉄工場に付属; 20p
貝類・化石・宝石など	私・専・自	4-10月開館; 15p; 観光用
密輸に関する資料	私・専・史	20p; 観光用
地質・自然史・考古・民族	地・綜	10-5(W), 2-5(S); 無料
地方産業・工芸	地・専・民	10-5(W); 無料
美術・考古・自然史(地方中心)	地・綜	10-5(W), 2-5(S); 17p
教会美術および考古	地・専・美	10-5(W); 無料; 教会の建物
16-19世紀の地方の生活品	地・専・民	10-5(W); 5p; 中世の邸宅

30. HMS Victoria Museum	Portsmouth, Dockyard
31. Portsmouth Royal Naval Museum	Portsmouth, Dockyard
32. Clive House Museum	Shrewsbury, College Hill
33. Rowley's House Museum	Shrewsbury, Barker St.
34. Museum and Art Gallery (W. s. M.)	Weston-super-Mare, The Boulevard
35. Windsor Castle	Windsor
ウェールズ Wales	
36. Museum of Welsh Antiquities	Bangor
37. Brecknock Museum	Brecon, Glamorgan St.
38. Regimental Museum of the Royal Welsh Fusiliers	Caernarvon, Castle
39. Segontium Roman Fort Museum	Caernarvon, Castle
40. National Museum of Wales	Cardiff, Cathays Park
41. Welsh Folk Museum	Cardiff, St. Fagans
42. County Museum of Carmarthern	Carmarthern, Quay St.
43. Pembrokeshire County Museum	Haverfordwest, The Castle
44. North Wales Quarrying Museum	Llanberis
45. Parc Howard Art Gallery and Museum	Llannelli
46. Newport Museum and Art Gallery	Newport, John Frost Sq.
47. Margom Stones Museum	Port Talbot
48. Royal Institution of South Wales Museum	Swansea, Victoria Rd.
49. Geology Museum of University College of Swansea	Swansea, Singleton Park
50. Tenby Museum	Tenby, Castle Hill
51. Tudor Merchant's House	Tenby, Quay Hill
スコットランド Scotland	
52. Royal Scottish Museum	Edinburgh, Chabers St.
53. Inverness Museum	Inverness, Castle

の岩石・化石の標本, 宝石標本が充実している。

資料の販売では地質図, 地質文献, ガイドブック, えはがきなど種類が多く, 簡単な野外調査用具なども販売している。

Science Museum, Victoria and Albert Museum なども規模が大きく, すべての面で, 上記2つにおとらない内容・活動をしている。British Museum についてはいうまでもないことであろう。

b. 国立総合博物館

Cardiff にある National Museum of Wales と Edinburgh にある Royal Scottish Museum, Dublin にある National Museum of Ireland がこれである。それぞれに, Wales, Scotland, Ireland の土地柄, 人々の気質を反映して特色がある。National Museum of Wales を例として説明する。

Victoria 号の保存 海軍の船・武器・服装など 産業・工芸・地質・軍隊 考古・歴史・地質 自然史・考古・歴史・産業・民俗・美術 美術・工芸・武器など(王室コレクション)	国・史 国・史 地・綜 地・綜 地・綜 美	Nelson 提督記念; 海軍所管 Victoria Museum と関連; 10p 12-1, 2-4.30(月), 10-1, 2-4.30(火-土): 冬 12-1, 2-6(月), 10-1, 2-6(火-土): 夏; 無料 古い建物; 都心にある 図書館の2階にある; 典型的な地方博物館 ウインザー城内; 11-5(火-土), 2-5(S); 20p
美術・民俗・工芸 民俗・美術・考古・自然史 武器・服装・戦利品など軍隊に関するもの ローマ遺跡の発掘品 自然史(地質・動物・植物)・美術・考古・産業(ウェールズ中心) 民俗・民家など建物 考古・歴史 考古・民俗・自然史・産業 産業(石切り場) 工芸・美術(地方) 考古・歴史・民俗・地質(地方) 歴史(道標・十字架など石造品) 考古・歴史・民俗・工芸・自然史 地質 考古・歴史・自然史 考古・民俗 歴史・考古・自然史・民俗・工芸・美術 考古・歴史・民俗・自然史	地・美・民 地・綜 地・専・史 国・専・史 国・綜 国・専・民 地・史 地・綜 国・専・産 地・美 地・綜 国・専・史 地・綜 大・自 地・綜 地・専・民 国・綜 地・綜	もとは大学付属; 石造りの古い建物; 無料 小さい地方博物館; 展示は新形式; 無料 この種の博物館は各地に多い; カエナーボン城にある; 25p(城と共通) ローマ遺跡に付属; 新しい; 5p 国立地方総合博物館; 大きい; 無料 10-5(冬・W), 10-6(夏・W), 2.30-5(S) 野外博物館; 10p 11-5(冬・W), 11-7(夏・W), 2.30-7(夏・S) 小規模; 無料 美術館と同居; 文書館が隣にある; 無料 スレート工場の跡の野外博物館; 10p 9.30-5.30(4・5月) 9.30-7.00(6-9月), 月曜休 地方の陶器のコレクションなど; 無料 地方を主題にした特別展がある; 無料 4世紀~16世紀のもの; 小さい; 5p 地域博物館; 5p 地質・化石; 大学の学生教育用 地域博物館の典型; 10p 古い民家を利用・保存; 10p 国立地方総合博物館; 大きい; 無料 スコットランド中心 スコットランドの地域中心; 無料

NMW は地質、植物、動物、芸術、産業、考古、スクール・サービスの部門からなり、それぞれに3人のスタッフがいます。地質部門ではさらに2人の研究助手がいます。スクール・サービスの部門には地質・植物・芸術の3スタッフである。

1910年に創立され、Wales 地方のすべてについての博物館である。展示は各部門により異なるが、Wales を主題にしていることが多い。地質・古生物部門では、一般的な説明展示もこの地方のものを材料としている。Wales の炭田、民俗と化石、ジュラ紀のカキ類の進化、Wales の三葉虫、Wales の風景などの展示が特徴的である。展示は小さい展示がえの他、15年くらいで更新している。「The Story of the Earth」のような新形式の展示についてのねらいをもっている。

収蔵はやはり Wales 中心で、時代別に整理されている。さらに、大きい分類単位、属、種へと細かくしてある。すでに面積が不足して来ている。標本棚は BMNH と同じタイプ、ひき

だしにガラスのふたがつき、戸棚に扉があり、しっかりした構造をもっている。

Wales の材料を主題にしたテキスト・パンフレットなどの発行は盛んで、その他の出版物と共に入口近くで販売されている。

その他の館の活動として、特別展、毎週水曜の昼に開かれるコンサート、子供のための休日活動、野外巡検、質問コーナーなどがある。この館の特徴としてあげられることに、掲示から案内、出版物にいたるまで、すべてウェールズ語と英語の両方で書かれていることがある。現在だんだんと使用されなくなったウェールズ語を保存しようと企図されたものであろう。

次の特徴として、分館をもつことである。ウェールズ民俗博物館 (Welsh Folk Museum—Cardiff の郊外 St. Fagans にある)、北ウェールズ石切場博物館 (North Wales Quarrying Museum—北ウェールズ Llanberis にある) など4館あり、前者はウェールズの民家をはじめ各種の建築物、家具・食器・道具などの民俗品を展示した野外博物館である。一方において技術の保存も試みられていて、おけ、木のろくろの職人さんが仕事をしている。後者はかつての石切場の工場をそのまま博物館とした、規模の大きい、野外も含めた産業遺跡博物館である (糸魚川 1976)。

c. 市立博物館

Birmingham, Bristol のような大都市にある総合博物館である。Bristol City Museum の特徴をあげるが、国立の総合博物館に近い規模をもち、活動をしているといえよう。

- i. 1823年に設立し、1895年に現在の建物に入った。
- ii. 地質・自然史・考古・技術・工芸の5つの部門とスクール・サービス部門を併設する。
- iii. 地質部門には3人のスタッフがいる。
- iv. 収蔵品は多く、古いものから新しいものまで、各種の棚に整理されているが、現在、新しいものに改装中である。地質部門では時代的に整理してある。Bristol を中心とした地方のコレクションである。
- v. 展示も部門によってさまざまである。考古は最近新展示にかえられた。自然史は古い動物剥製を中心としてクラシックである。地質は「地域地質」のオーソドックスな展示 (地質博物館の小型版) と新しい展示として「洞穴とケービング」—約5年前作製—がある。
- vi. 全体にスペースに比して展示が多く、せまい。特別展を入口近くのホールで開催中であったが、手ぜまな感じをうけた。
- vii. 絵画修理、剥製製作の作業まで行っている。
- viii. 販売活動はさかんで、かなりのスペースをとり、他館のものまで扱っている。
- ix. スクールサービス部門では、貸出し標本のトランク、スライドなどがあり、教材として、学校へ貸出すシステムができています。

Birmingham City Museum and Art Gallery はより規模が大きく、さらに、Science Museum が独立してある。Bristol のそれと似ているが部門はさらに多く、すべてにわたっている。夏休みの行事として、年令別にわけたクイズ競技をやっていたのが目についた。

d. 地方総合博物館

各市町村の博物館である。このタイプの博物館は各地に多い。2つの例をあげる。

i. Royal Institution of South Wales Museum

南ウェールズ Swansea にある。典型的な地域博物館で、収集・展示が中心である。展示は地質、植物、動物、考古、産業、民俗、陶器など多岐にわたる。クラシックなスタイルであるが、

よく整理されている。地質—自然史の展示では、coal measure (石炭層), Gower (Swansea の地名) の岩石, Swansea と Gower の貝類, Ice age (氷期) などの地域的なものの他、地質—鉱物、化石化作用などの一般的解説もある。その他では、Wales の台所のジオラマが見事であるし、陶器は主にこの地方のものである。動物部門では野鳥が中心である。

ii. Castle Museum of Norwich

Norwich は東アングリア地方 Norfolk 州の中心で、中心となる Castle Museum は総合博物館、他に3つの専門博物館がある(後述)。Castle Museum は1824年に1室で展示が開始され、1894年に現在の建物に移った。美術・考古・自然史の3部門があり、この地方のものを中心にして収集・展示・研究を行っている。自然史には3人のスタッフがいるが、すべての専門をカバーしてないので、地質部門のように、専門スタッフのいない部門は弱いようである。展示は特に目新しくないが、地方のものが中心で、「郷土の自然」をテーマにしたジオラマが目立った。特に鳥の生態展示は、他館についてもいえることだが、充実している。展示がえは部分的に行われていて、古いものは1900年製作であり、現在製作中のものまで含めて、多様である。

収蔵庫は古く、時代と共に推移してきたことを示している。個人の寄贈標本も多く、昆虫、植物、貝殻などにそれが見られた。趣味としてのコレクションの寄付であり、時には購入もあるようである。

この博物館の特徴としていくつかのことがあげられる。1つは自然保護の仕事をしていることで、この地方の保護すべきものの約300がリストになっていて、工事その他の破壊から守ろうという作業をしている。他の1つは、Norfolk 州には博物館グループがあり、Castle Museum が中心になり、相互に連絡しあい、資料の貸借、情報の交換を行っている。Castle Museum がスタッフ2人のスクールサービス部門、4人の展示・デザイン部門、他の3つの専門博物館を含めて28人のスタッフを持つことは驚異的である。

e. 地方専門博物館

国立、市立、National Trust のものなど各種の専門博物館が各地にある。おおむね規模は小さく、収集・展示が主な仕事である。要するに、各地にある、貴重な資料を、それが何であれ保存し、一般に公開するためである。したがって内容は多岐にわたるが、考古、歴史、民俗資料などが多い。先にのべた North Wales Quarrying Museum もその1つといえるだろう。他の1つの例、Margam Stones Museum は南ウェールズの Swansea の近く、Port Talbot にあり、環境局の管轄下にある。かつての教会付属の学校の小さい石造りの建物の中に、道標、墓標、十字架など石造りの碑が集められている。最古のものは4世紀のローマ時代の道標で、その他、6—9世紀の碑、9—11世紀の十字架などがあり、すべて Port Talbot 近くから集められたものである。収集は19世紀の終りから始められ、1932年に現在の建物に移し公開された。

他の例として、Norwich の Strangers' Hall Museum があげられる。Norwich の博物館グループの1つで、Castle Museum の管轄下にある。原型は中世にさかのぼる邸宅を保存し、そこに、各種の調度品、衣裳、小間物などを展示し、かつての上流社会の生活を復元した博物館である。多くの部屋は時代別に家具がとりつけられ、16世紀から19世紀のものが主である。Norwich の他の2つ、地方の産業、工芸品を集めた Bridewell Museum、15世紀の教会の建物に教会美術品を展示する St. Peter Hungate Church Museum も地方専門博物館である。変った例としては Portsmouth にある HMS Victoria Museum で、Nelson 提督を記念して当時の軍艦 Victoria 号を保存したものである。海軍の所管である。

f. 大学付属博物館

イギリスの大学は伝統があり、その多くには、永年にわたる資料の蓄積がある。それを一般に公開したのが大学付属博物館の1つの例で、ケンブリッジ大学の Sedgwick Museum はその典型例である。著名な地質学者 Sedgwick 教授を記念して命名されたこの博物館は地質・古生物の分野の標本室の公開である。100 年以上にわたる研究・収集の結果として、全世界にわたる貴重なコレクションができ上っている。展示は時代別・地域別にされており、当然のこととして、古典的である。魚・魚竜などのすぐれた標本が目立った。開館時間は午後2-4時であり、大学の休暇期間中は休館であるが、開館中はスタッフが待機していて質問にこたえている。隣接する考古学・民族学博物館も同様で、膨大なコレクションの公開である。新しい形式の展示があること、研究室がすぐ隣にあり、スタッフの出入りがあることなど気のついた点である。

他の1つの例は学生教育用のもので、University College of Swansea にあるものがそれである。大学の研究室の一部を博物館とし、展示がしてある。テーマは基本的なことから今日の新たなことまで、一般的なことから地域的なことまでわたる。Wales の地質に関係あること、古生態学に関する展示が目立った。一般には非公開である。

g. その他の博物館

いままでのべたうちに入らないいくつかの博物館がある。その多くは私立で、観光地にあるものが多い。たとえば、Isle of Wight (ワイト島) にある、Liliput Museum of Antique and Period Dolls (人形博物館)、Smuggling Museum (密輸博物館) などがそれである。前者は個人のコレクションの公開で、同時に各種の人形を販売している。後者は、ワイト島がかって密輸の基地であったことから企画・製作されたと思われるが、密輸に関するすべてである。観光客目あての博物館である。日本でもこの種の博物館が見られるであろう。

3. 博物館の活動

博物館の基本的な活動に、収集、展示、普及、研究の4つの面があるが、イギリスの博物館についてまとめて見る。

a. 収集

博物館の原点に、個人のコレクションの寄付あるいは購入があったことは事実である。それが、長年にわたっての、たえまない努力によって増大し、多くの博物館に見られる膨大な資料となっていると思われる。一般に博物館をつくるために資料を集めるのではなく、材料があるから博物館がつくられるのである。日本で見られるような、建物をつくって、あるいは事業としての博物館づくりが先にあって、後で物を集めるという例は少ないと思われる。

国の機関にしる、地方機関にしる、収集の努力は現在もつづけられていて、特に、古い、再現性のないものについて、あるいは教育・普及上必要なものについて著しい。

保存は新しい方法でやられていることは少ないと思われる。利用には必ずしも便利でないが、系統的に整理されていて、本来の目的は十分に果されている。ただ、コレクションが多すぎて、整理されないまま、死蔵されてほこりをかぶっている例が見られた。

b. 展示

展示は一般にクラシックである。博物館の歴史が長いことも1つの原因であろうし、系統的に、物を正しく見せるという姿勢によるのかもしれない。大学付属博物館では標本室の公開であるから正統的であるのは当然である。

新しい形式の展示も見られる。典型的な例は Geological Museum の「The Story of the Earth」である。前にものべたように、新しく企画され、設計された、地球についての展示である。最近の新しいデータを豊富にとり入れ、模型・アニメーションをふんだんに使っている。項目だけをあげておく。

The Earth in space	空間の中の地球
Origin of the elements	元素の起源
Origin of the solar system	太陽系の起源
Moon, Mars and meteorites	月、火星と隕石
What are rocks ?	岩石とは何か?
The first 1000 million years	最初の10億年
The Earth's interior and crust	地球内部と地殻
The continents and their origin	大陸とその起源
The oceans and their origin	大洋とその起源
Continental drift	大陸漂移
Magma and volcanos	マグマと火山
Erosion and sedimentation	侵食と堆積
Metamorphism of rocks	岩石の変成
Deformation of rocks; earthquakes	岩石の変形・地震
Geological time	地質的時間

このような新しい展示の試みは、各地の博物館の担当者に刺激を与えている。NMW でも Bristol City Museum でも、この展示が話題に上り、機会があれば試みたいとの発言があった。その他に新しい展示がないわけではない。すでのふれたものの他、Birmingham City Museum, Castle Museum の一部、新しい博物館である Segontium Roman Fort Museum, New Port Museum and Art Gallery などに見られる。

c. 普及

Museums in Education というテキストが政府発行であるくらいだから、普及活動はどの博物館でも活発で、少し大きい博物館はスクール・サービスの部門を持っていて活動している。生徒・学生対象の講義、標本貸出し、見学会などが試みられている。授業の一部が博物館で行われることもある。一般向けには各種の催し、講演会、映画会、館内説明会などがある。質問コーナーも多く、大学の博物館でさえある。ロンドンの Science Museum には子供向け展示室があり、そのためのガイドブックがある。クイズシートは NMW や Kew Gardens の博物館で見られた。

各種の出版物、資料、教育用材料の販売も博物館の大切な機能の1つで、どこでも充実している。とくに国立専門博物館・総合博物館、市立総合博物館で充実していて、イギリス全体なり、その地域の資料を入手するのに便利である。

d. 研究

研究は主に大きい博物館で行われている。国立専門・総合博物館、市立総合博物館などである。その博物館のもつ資料の研究、地域の研究をはじめ、多種多様であり、その成果も出版物としてまとめられている。自然保護の仕事も、研究活動の一部といえるかもしれない。

第2表 イギリスの博物館のまとめ

Table 2. Classification of museums in U. K.

タイプ Type	代表的な館 Representatives	収 集 Collection	展 示 Exhibition	普 及 Education	研 究 Research	そ の 他 Others	第1表の No.
国立専門博物館 National museum with speciality	British Museum (NH) Geological Museum	長い歴史 大コレクション 特色あり	さまざまなタイプ; 量と質はすばらしい; 分野別	さかん; 講演映画など; スクールサービスあり 資料販売	さかん; スタッフ多い; 専門的, 国際的 その他	大きくて立派 レストランあり 無料	1,2,3, 5,7
国立総合博物館 National general museum	National Museum of Wales	大コレクション 地方色あり	各分野にわたる; 網羅的; 地方色あり	" 質問コーナーあり	さかん; スタッフいる; 地方中心	大きい; 全国に3つ(各地方); レストランあり 無料	40,52
市立総合博物館 City general museum	Bristol City Museum	大コレクション 地方色あり	"	" "	"	大きい; 大都市にある; 地方の中心; 無料	12,14
地方総合博物館 Local general museum	Castle Museum(Norwich), Swansea Museum	コレクションはさまざま; 寄贈購入など 地方色あり	多くの分野 地方のものを網羅する	ときに催あり; スクール・サービスもある; 資料販売	小人数〜ない; 例外的に多いことあり 地方中心	地方の中心; 自然保護も担当することあり 多くは無料	19,27, 32,33,34, 37,43,46, 48,53
地方専門博物館 Local museum with speciality	Margam Stones Museum Strangers' Hall Museum	特定の主題についてのコレクション; 地方的	特定の資料 収蔵的展示	とくにない 資料販売	ないことが多い	特色をもつ さまざま 国・市・公立	8,9,10, 13,15,16 26,27,28 30,39,44,47
大学付属博物館 University museum	Sedgwick Museum Mus. of U. C. of Swansea	大コレクション 特定の分野; 非公開もある	標本室の公開	質問コーナーあり; 学生用	博物館とは関係なく研究が行われる	大学の市民へのサービス 教育用	18,19,49
その他の博物館 Other type museum	Doll Museum Smuggling Museum (Isle of Wight)	個人コレクションなど; 少ない場合もある	展示が中心 見せものの	?	なし	観光地用 見せものの	21,22, 23,24

4. あ と が き

前項までにのべたことを第2表にまとめた。イギリスの各地の博物館資料のリストを、本研究報告(p. 239-244)に資料として掲載した。現在、「科学と実験」誌に各地のさまざまな博物館を紹介する目的で“ヨーロッパの小さい博物館”を連載中である。

イギリスの博物館はそれがどのような性格を持つにせよ、それぞれの立場に立って、それにふさわしい活動が続けているといえる。博物館の伝統はイギリスで守られており、国民と博物館の間の関係から察する限り、今後の博物館の発展も十分期待できるであろう。

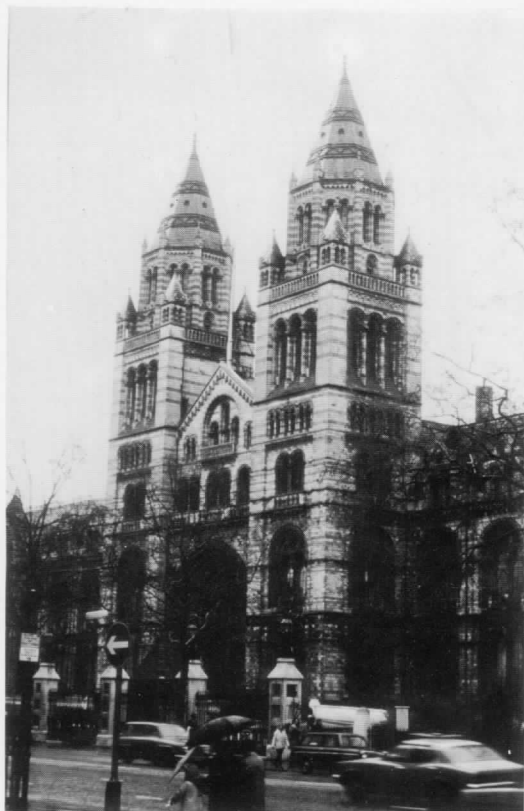
参 考 文 献

- ALEXANDER E. (1974), *Museums and how to use them*. B T Bastford, London.
- Department of Education and Science (1971), *Museums in Education*. Her Majesty's Stationery Office, London.
- HUDSON, K. (1975), *A guide to the industrial Archaeology of Europe* (ケネス・ハドソン：産業遺跡博物館ガイド。日本放送出版協会)
- 糸魚川淳二 (1976), 個性豊かなヨーロッパの博物館。科学朝日, vol. 36, no. 3, p. 88-94.
- (1976), ヨーロッパの小さい博物館。ノールウィッチの博物館。科学と実験, vol. 27, no. 4, p. 36-37.
- (1976), 同上, 北ウェールズの石切場博物館。同上, vol. 27, no. 7, p. 72-73.
- (1976), 同上, ケンブリッジ大学の博物館。同上, vol. 27, no. 8, p. 52-53.
- (1976), 同上, マルガム博物館。同上, vol. 27, no. 11, p. 63-64.
- 棚橋源太郎 (1947), 世界の博物館, 講談社。

Figs. 1-4. British Museum (NH) 大英自然史博物館

1. 外観
2. 収蔵庫内の標本戸棚
3. 解説リーフレット
4. *Paleoparadoxia* (土岐産) コピーの展示

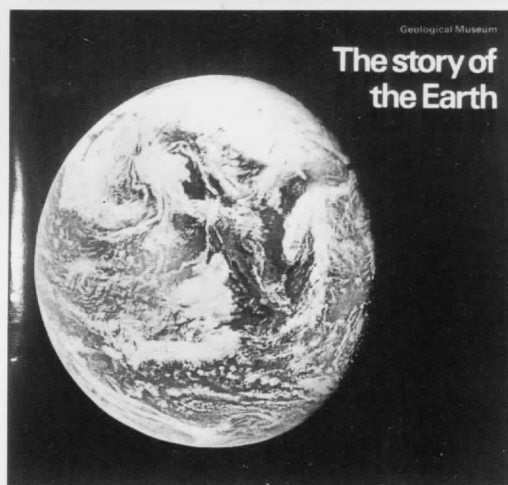
Fig. 5. Geological Museum 地質博物館の展示解説 (The Story of the Earth)



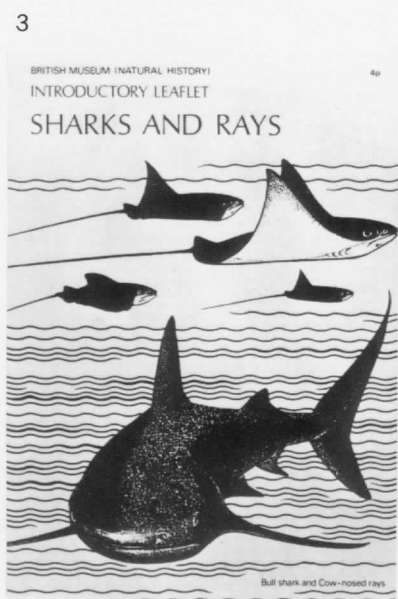
1



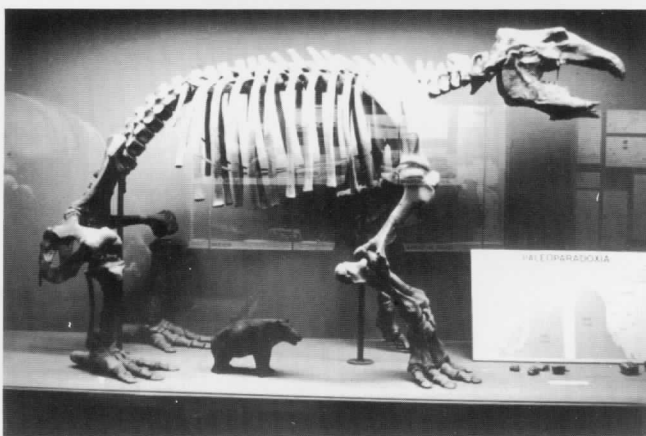
2



5



3



4

Fig. 1. Science Museum 科学博物館の展示解説 (Children gallery)

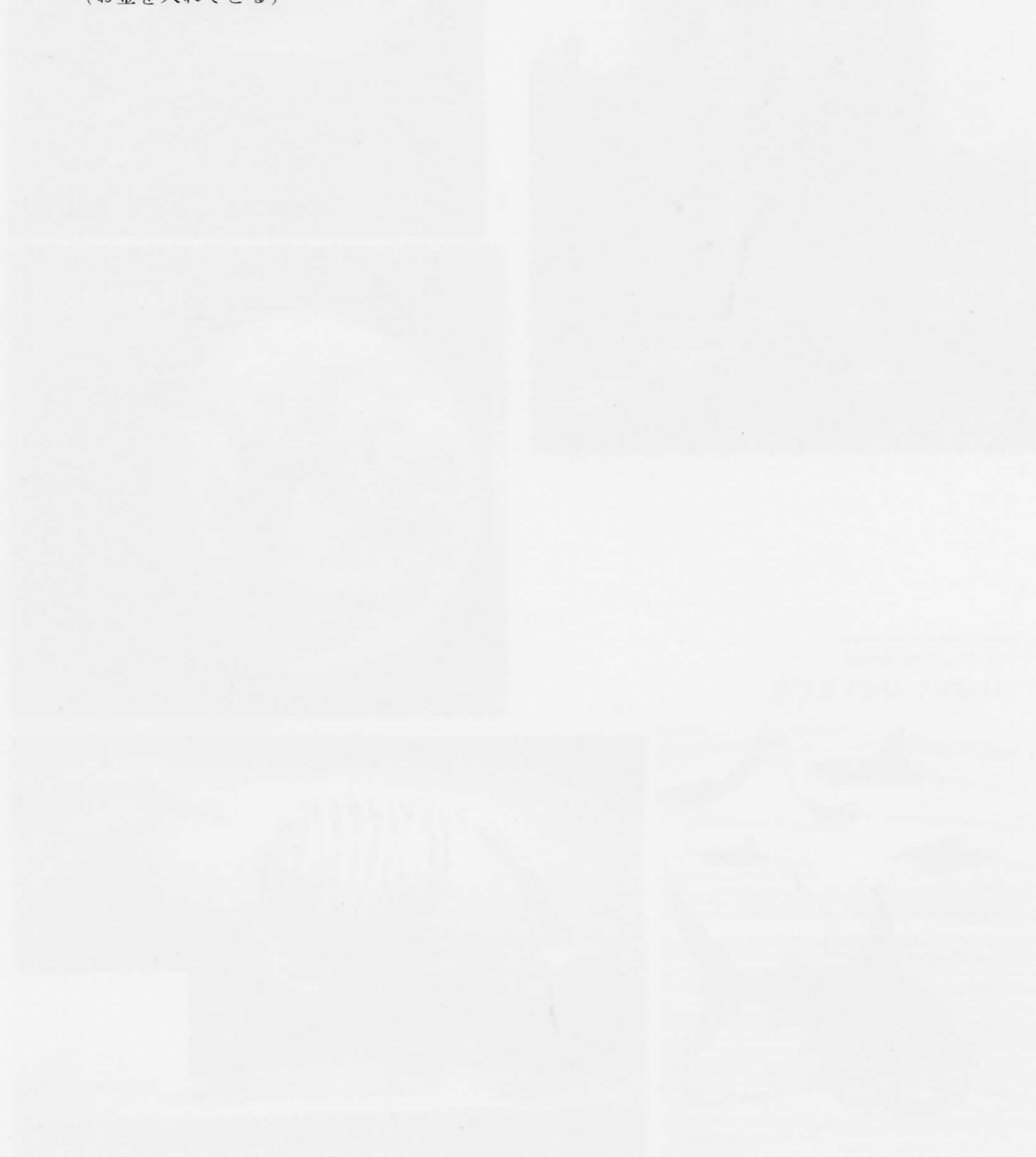
Fig. 2. Geological Museum 地質博物館の地域地質のコーナー

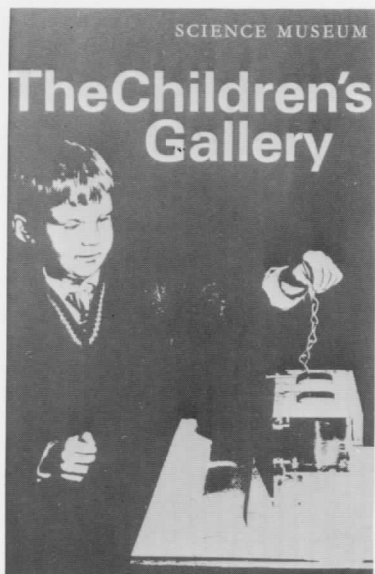
Figs. 3,4. National Museum of Wales 国立ウエールズ博物館

3. 収蔵庫

4. 質問カード

Fig. 5. Bristol City Museum ブリストル市立博物館のパンフレット販売
(お金を入れてとる)





1



2



3



5

AMGUEDDFA GENEDLAETHOL CYMRU • NATIONAL MUSEUM OF WALES

TO _____	DATE _____
CALLER'S NAME _____	NATURE OF ENQUIRY :-
ADDRESS _____	

4

Figs. 1,2. North Wales Quarrying Museum 北ウエールズ石切場博物館

1. 内庭から入口方向を見る

2. 内部

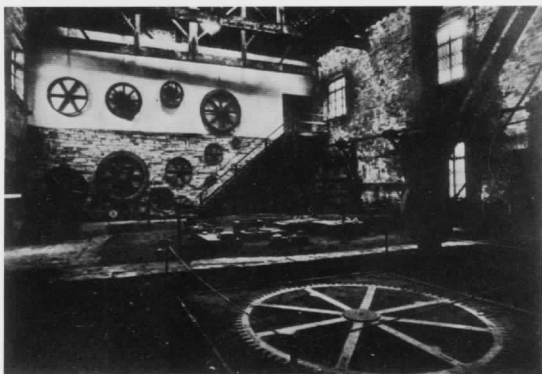
Fig. 3. Wales の博物館ガイドのパンフレット

Fig. 4. Shrewsbury の Rowley's House Museum

Fig. 5. Kew Gardens の博物館のクイズシート



1



2



3



4

Royal Botanic Gardens, Kew.

QUIZ SHEET ON THE GARDENS

The area covered by this Quiz is bounded by the Palm House pond, the Temperate House and the Orangery. Start by turning left out of the Museum front door.

1. What sort of oak tree has been grown from an acorn sent from the Verdun Battlefield ?

.....

When was it planted ?

2. What kind of wood is the flagstaff made of ?

.....

How tall is it ?

3. Who was Marianne North ?

.....

How many pictures are there in the Marianne North Gallery ?

.....

4. Look at pictures No. 232 and No. 536 and say what fruits are shown, and in what countries they were painted.

.....

5. How many Queen's Beasts are there ?

.....

Which beast has a crown on its head ?

6. There is a weeping willow by the Palm House pond. Find another tree with a weeping habit and give its Latin and English names.

.....

7. What is the name of the pine with beautiful flaking bark on the Crab Mound near the Water Lily House (No. 15) ?

.....

8. When was the Orangery built ?

.....

9. What tree is planted on the site of the Temple of the Sun ?

.....

This tree marks the centre of the original Botanic Garden. Who started this Botanic Garden, and when ?

.....

P.T.O.

5

Plate 59

Fig. 1. Royal Institution of South Wales Museum (Swansea) の Wales の家具の展示

Fig. 2. Margam Stones Museum の外観

Fig. 3. Ipswich Museum のリーフレット

Fig. 4. University College of Swansea の地質学教室の Museum

Fig. 5. Sedgwick Museum (Cambridge) の外観

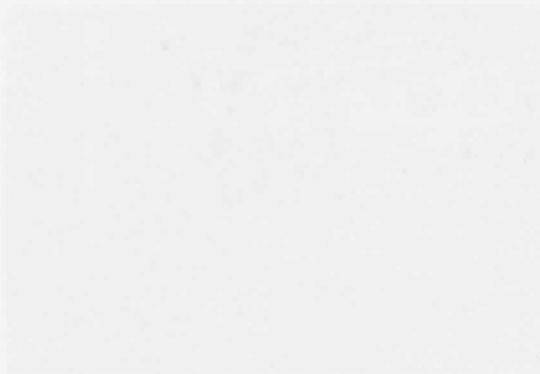


Plate 59

Fig. 1. Royal Institution of South Wales Museum (Swansea) の Wales の家具の展示

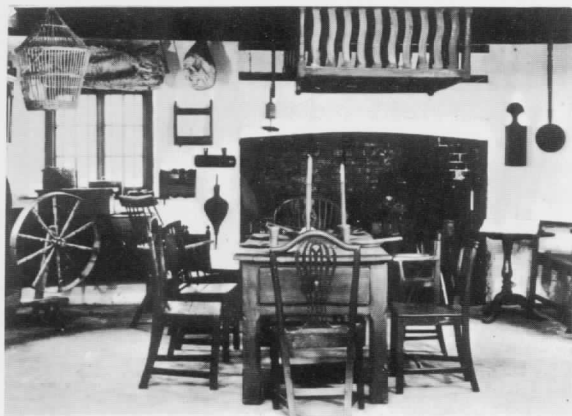
Fig. 2. Margam Stones Museum の外観

Fig. 3. Ipswich Museum のリーフレット

Fig. 4. University College of Swansea の地質学教室の Museum

Fig. 5. Sedgwick Museum (Cambridge) の外観

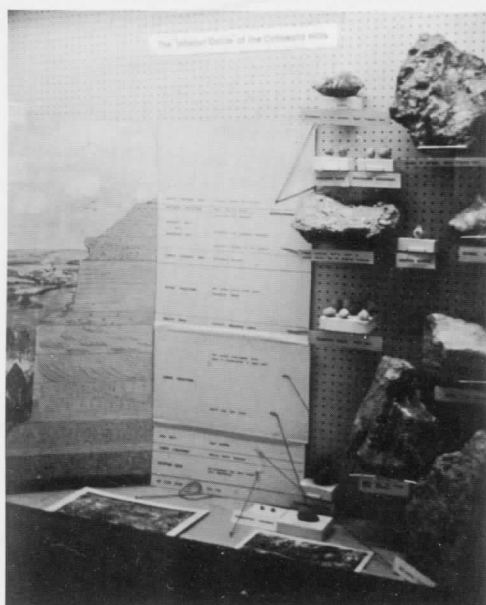




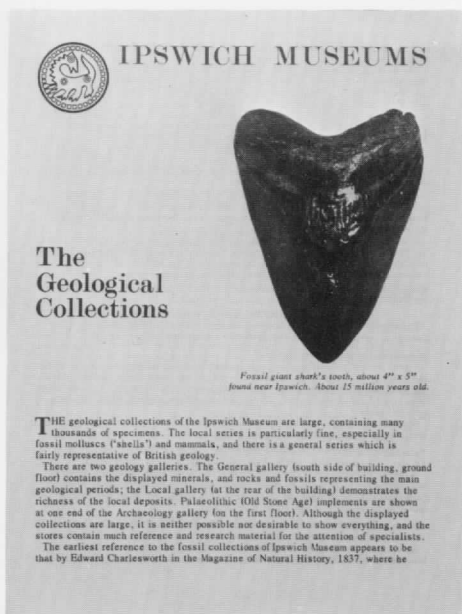
1



2



4



3



5